

京都市を取り巻く社会経済情勢等

① 防災

被害の甚大化が危惧される自然災害等

京都市域を走る断層帯



被害想定結果

起震断層名等	地震規模 (マグニチュード)	建物被害 (棟)		死者数 (人)
		全壊	半壊	
花折断層	7.5	100,000	111,000	2,600~4,100
桃山~鹿ヶ谷断層	6.6	33,000	65,000	800~1,300
檜原~水尾断層	6.6	13,000	41,000	400~600
殿田・神吉・越畑断層	7.2	18,000	77,000	400~700
南海トラフ地震	9.0	5,000	38,000	90~100

※「京都市第4次地震被害想定『報告書』」をもとに作成

① 防災

嵐山における左岸溢水対策

桂川の左岸溢水対策として、地域、専門家、行政の連携により可動式止水壁を設置。治水対策としての安全性を確保するとともに、景観にも配慮した意匠が採用されている。

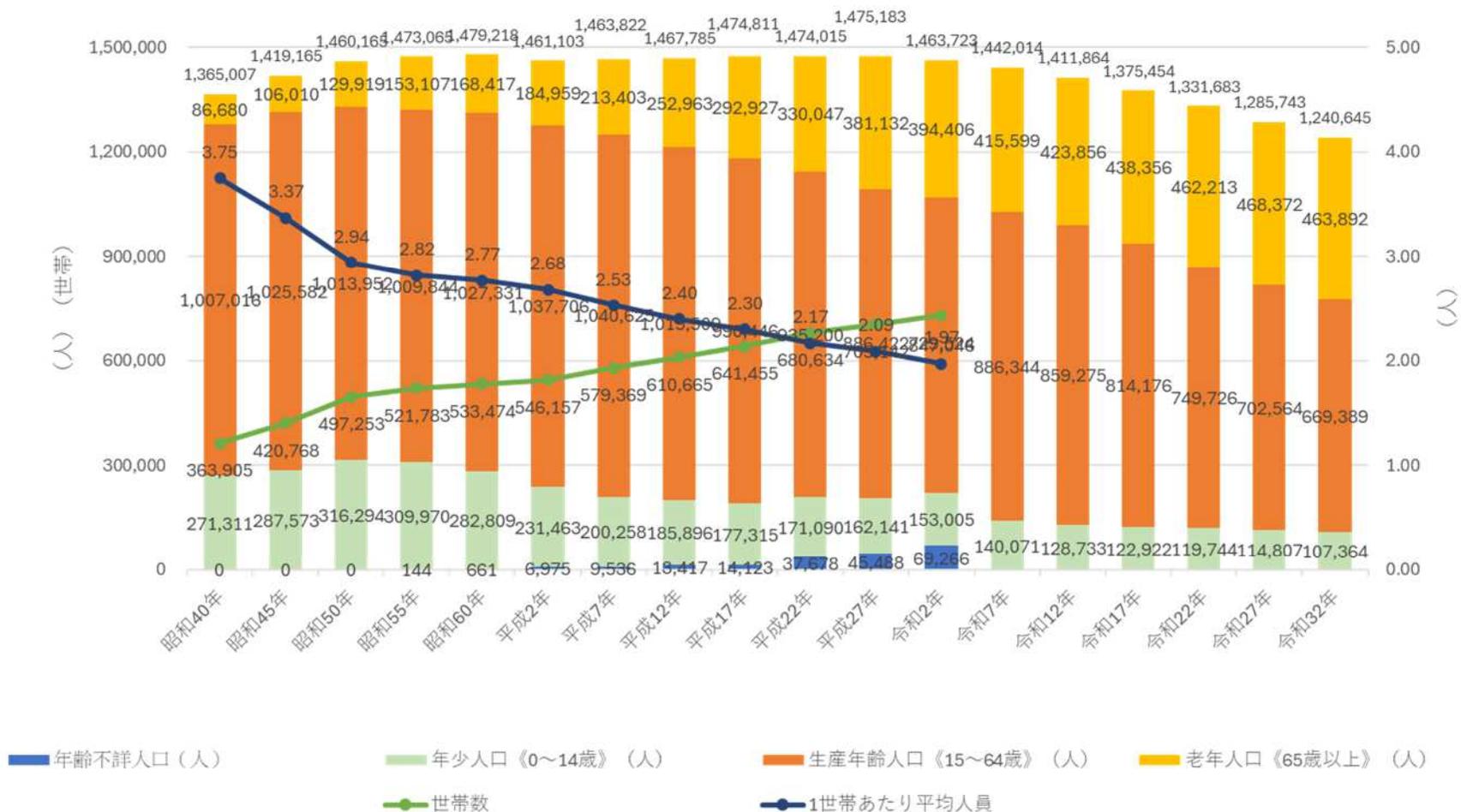


※写真は京都市撮影

② 人口

京都市の人口の推移・推計（S40～R32）

本市の人口は、平成27年以降は減少に転じ、令和32年（2050年）までには約13万人減少すると推計されている。

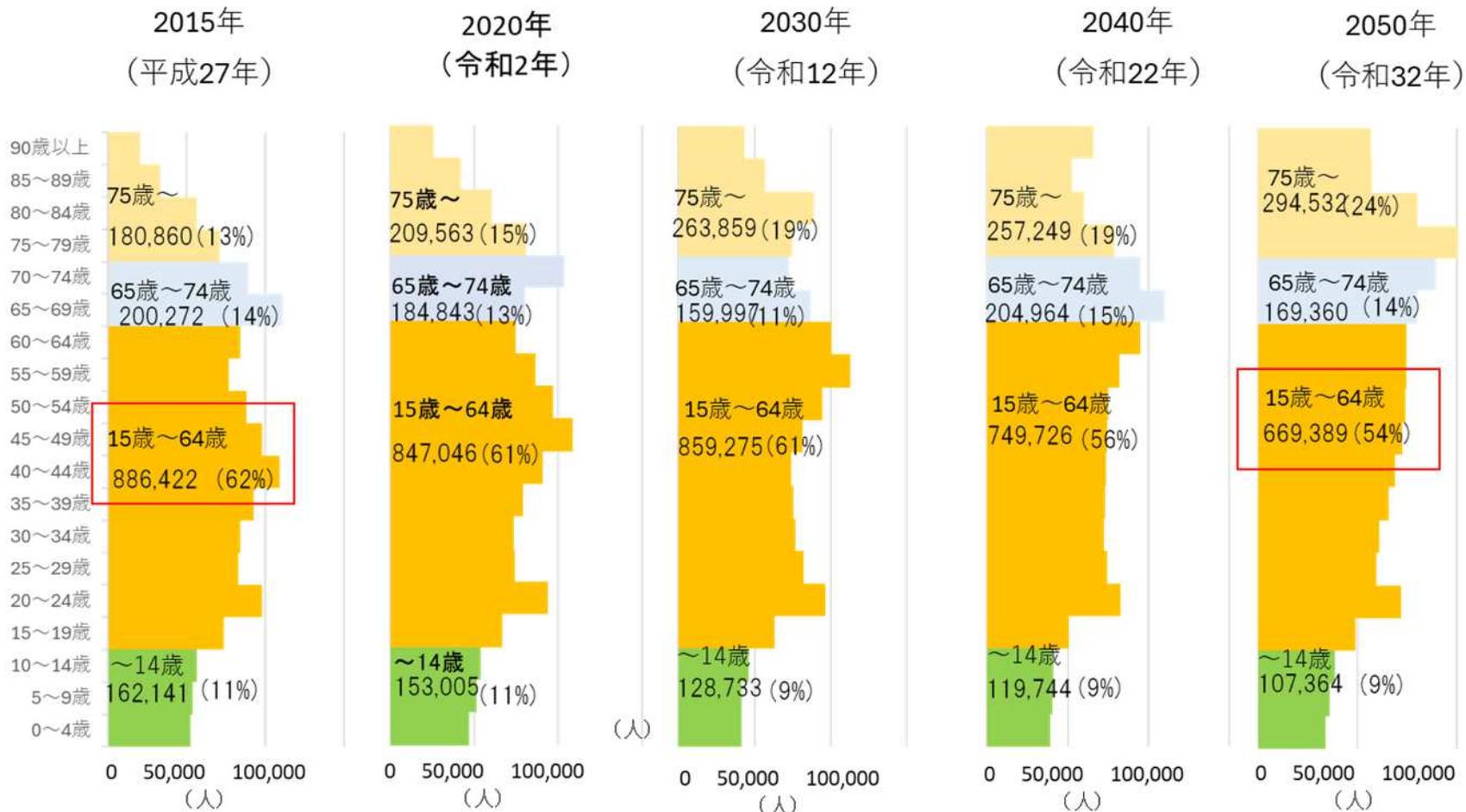


資料) 総務省「国勢調査」(令和2年まで)
 国立社会保障・人口問題研究所: 令和5年「日本の地域別将来推計人口」(令和7年以降)

② 人口

京都市の人口の推移・推計（人口ピラミッドH2～R32）

令和7年には、3人に1人が高齢者、令和32年には生産年齢人口が平成27年比で2割以上減少する見込み。

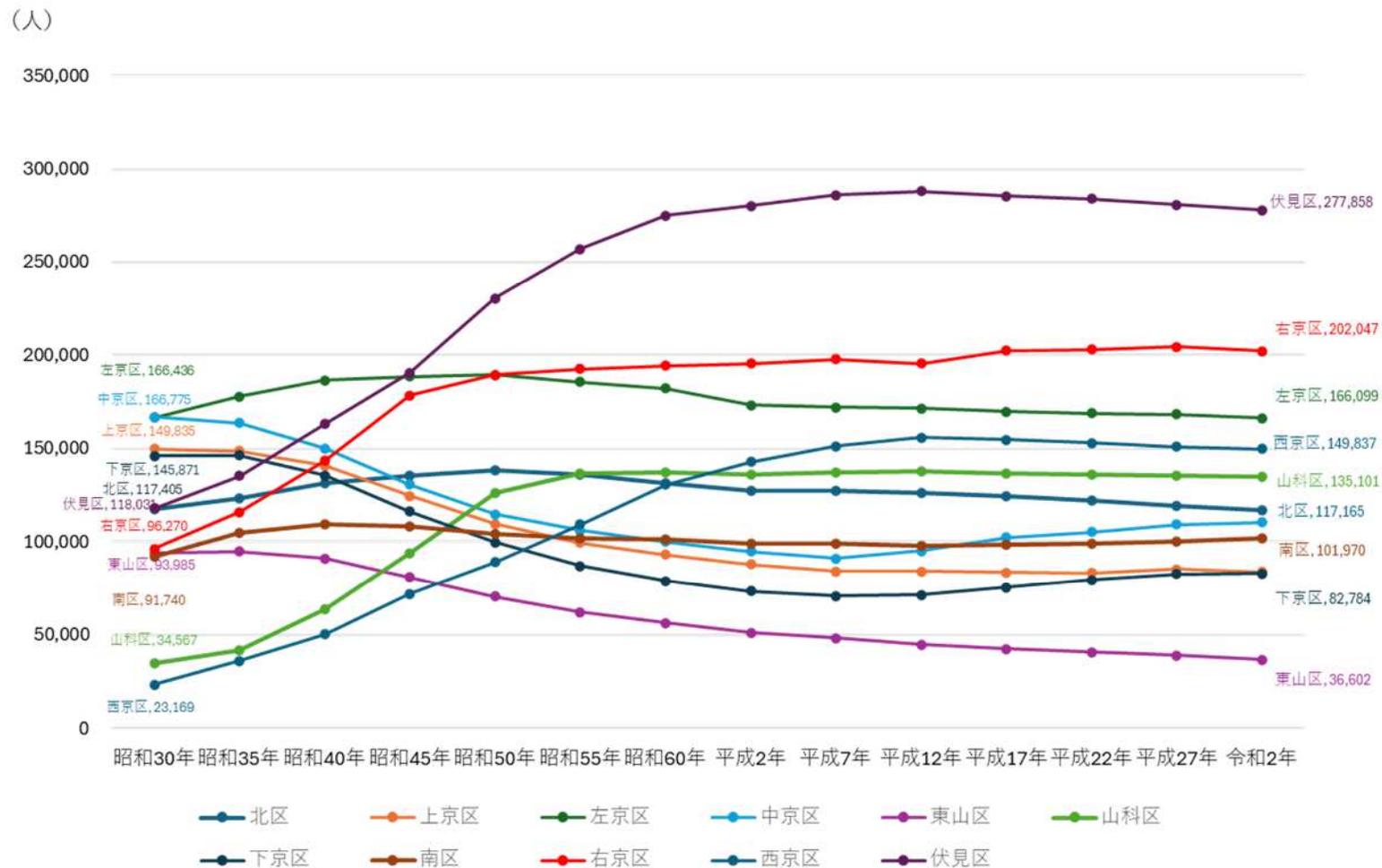


資料) 総務省「国勢調査(令和2年まで)」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和7年以降)」

② 人口

行政区別の人口推移（S30～R2）

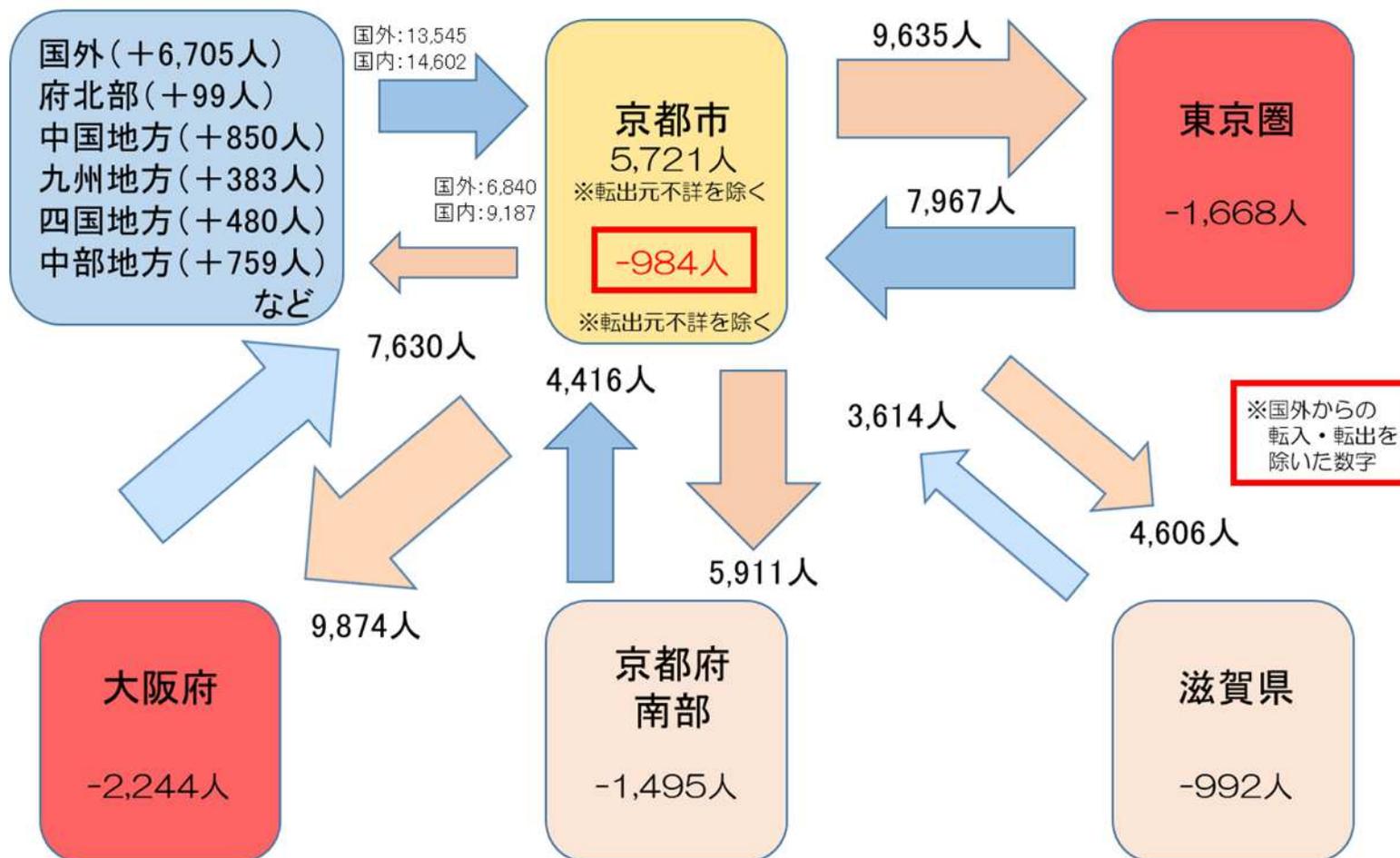
ニュータウン開発が行われた西京、伏見区では、人口が急増。一方、上京、中京、東山、下京区は、昭和30年当時の半数程度の人口となっている。



② 人口

本市と他都市との転入・転出の状況（R5）

本市全体では転入超過。東京都、大阪府、府南部、滋賀県に対しては転出超過。
ただし、国外からの転入・転出を除くと、転出が超過。



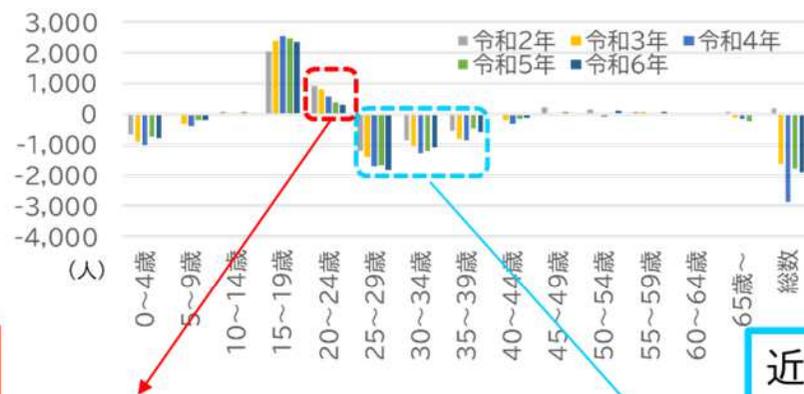
資料) 京都市「住民基本台帳（令和5年）」 ※令和4年10月～令和5年9月末の年計
東京圏は、東京、埼玉、千葉、神奈川

② 人口

就職、結婚・子育て世代の転出超過

就職期（20～24歳）に首都圏や大阪へ、結婚・子育て期に近隣都市への転出が顕著

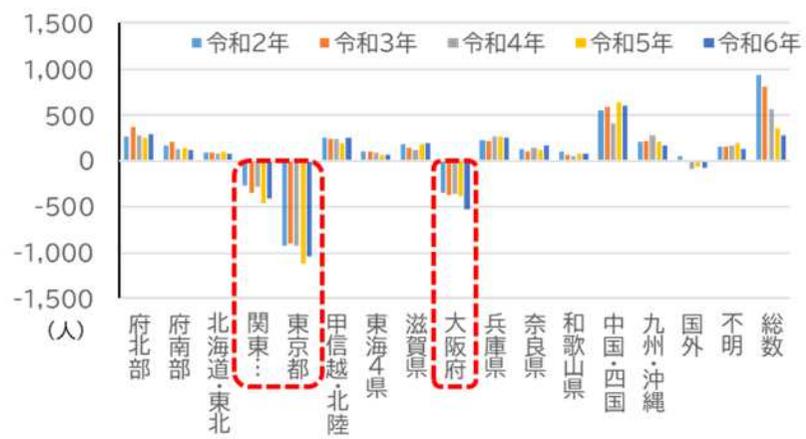
年代別の人口社会動態(日本人のみ)



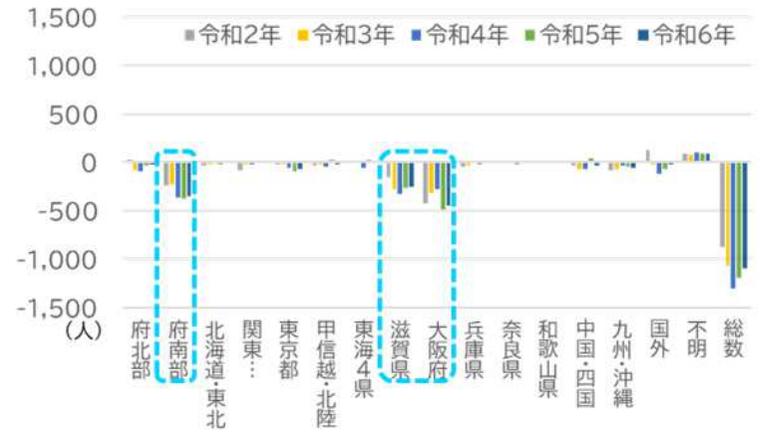
首都圏や大阪への転出
⇒就職に伴う転出

近隣都市への転出
⇒結婚・子育てに伴う転出

20～24歳の人口社会動態



30～34歳の人口社会動態



出典：京都市統計ポータル「人口動態・人口移動」を基に作成(各年前年10月～当年9月の集計数値)

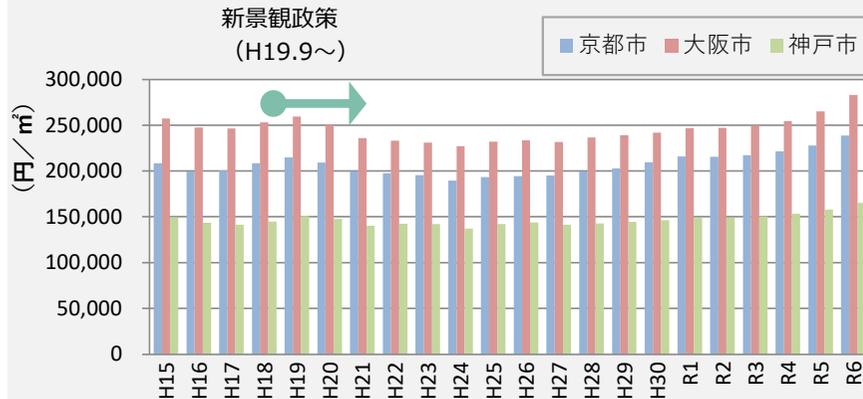
② 人口

土地の価格の動向

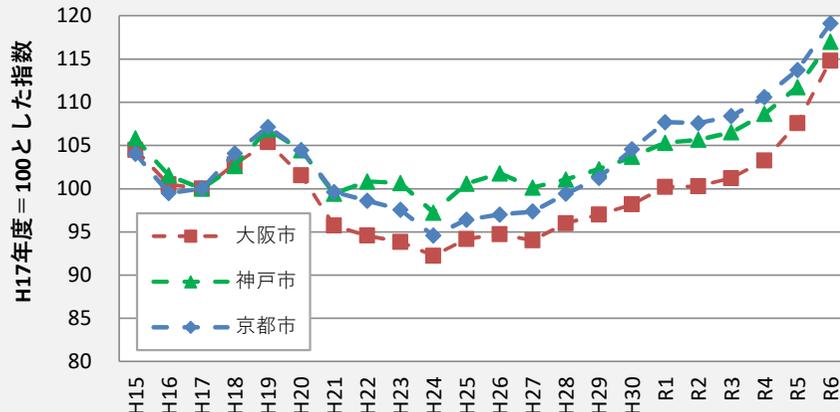
大阪市・神戸市に比べ、住宅地平均価格の推移は、上昇の幅が大きくなっている。
商業地最高価格の推移は、特異な傾向はみられない

住宅地平均価格

地価公示の推移

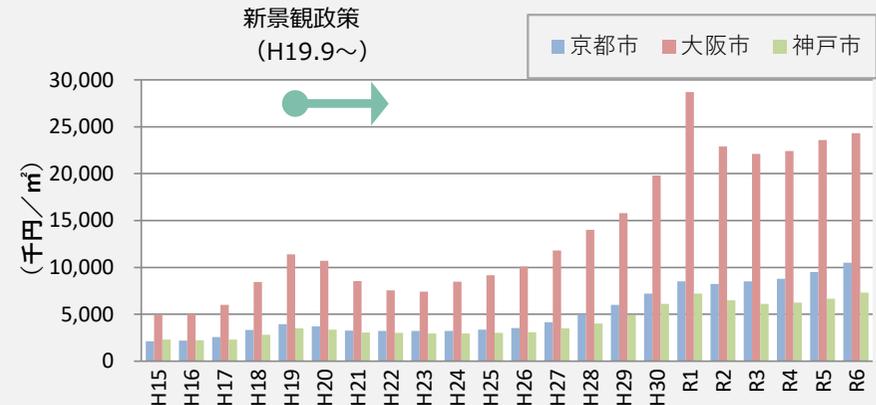


地価公示 (平成17年度を100とした指数) の推移

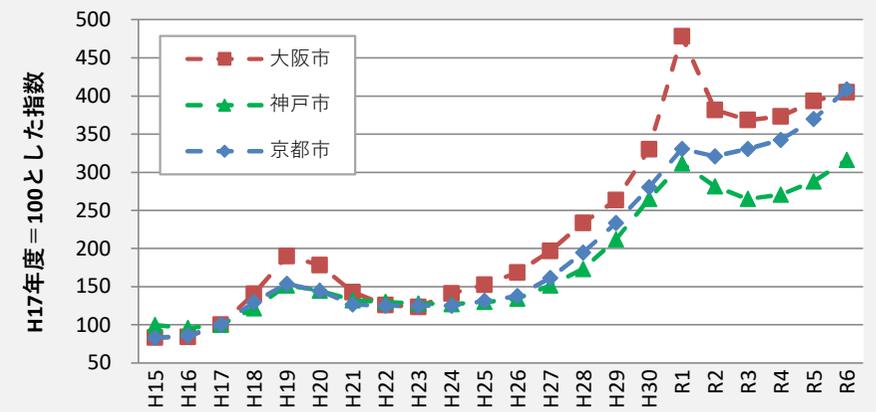


商業地最高価格

地価公示の推移



地価公示 (平成17年度を100とした指数) の推移



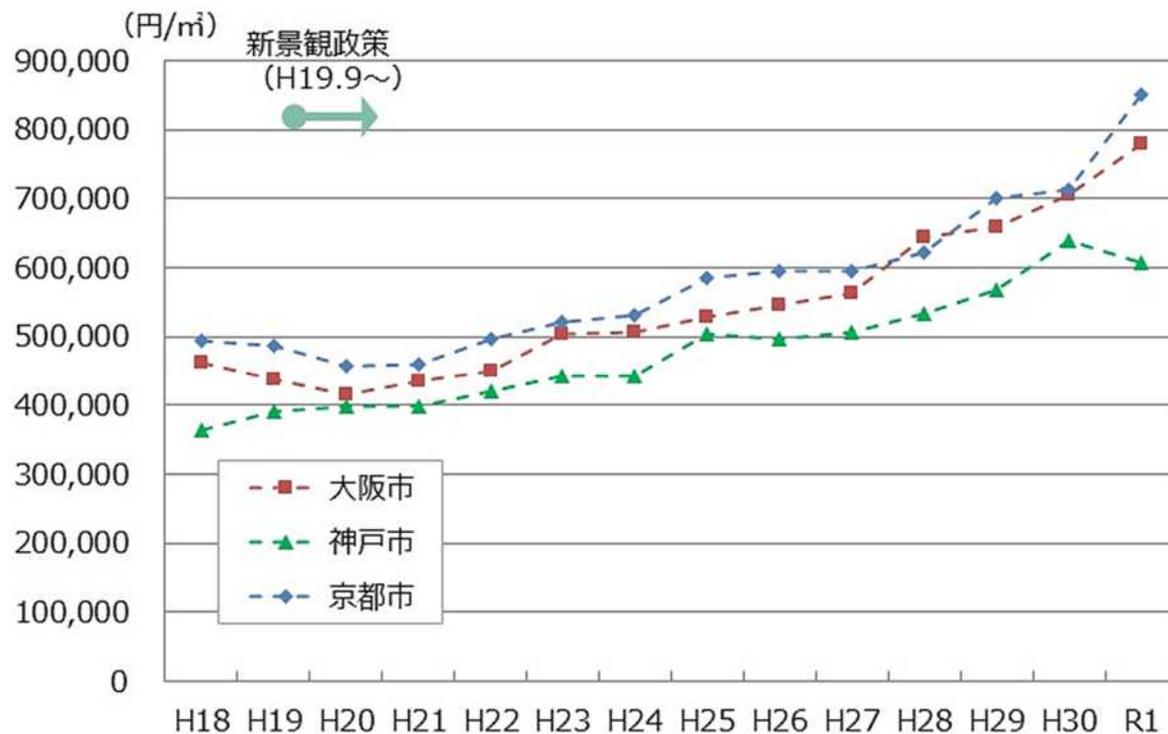
※地価公示は1月1日時点での価格。上記グラフの横軸は年度表記であり、例えば「H17」は「平成18年1月1日の地価公示」の価格を表している。

② 人口

マンションの不動産取引価格の動向

京都市内都心部の中古マンションの取引価格（㎡単価）は、大阪市・神戸市に比べ高い水準で推移し、上昇傾向にある。

中古マンションの不動産取引価格の推移（㎡単価）



資料) 「不動産の取引価格情報」(国土交通省 土地総合情報ライブラリー)

※ 3都市の都心部にある中古マンション(築後3~10年を経た物件を抽出)の取引価格(㎡単価)を平均したもの。取引価格は、国土交通省が全取引を対象に行っているアンケート調査による。

☆京都市: 上京区, 中京区, 下京区, 東山区の計4区

☆大阪市: 北区, 福島区, 中央区, 西区, 天王寺区, 浪速区の計6区

☆神戸市: 東灘区, 灘区, 中央区, 兵庫区の計4区

※全取引件数に対するデータ取得率は、概ね10%~20%程度である。

③ コミュニティ

自治体・町内会の加入率

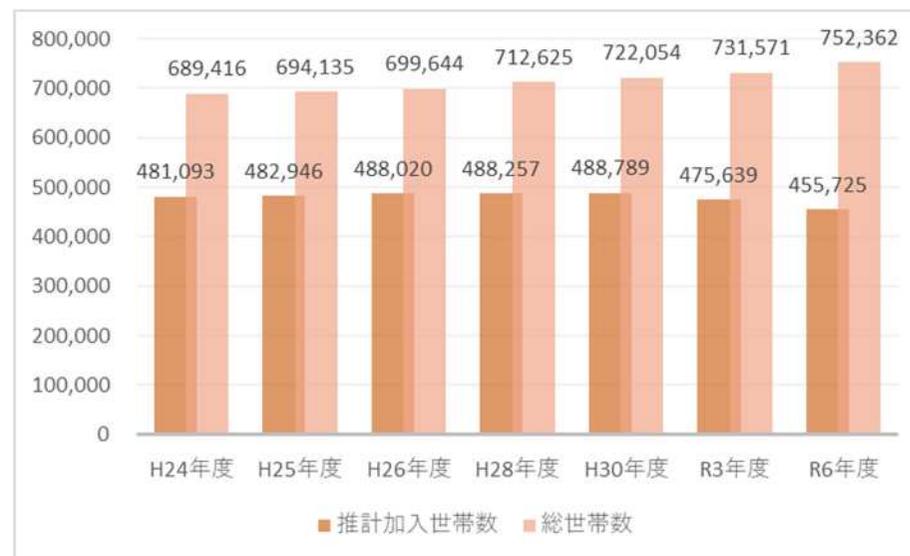
自治体・町内会の推計加入率は減少傾向にあり、令和6年度は平成26年度と比較すると**13.2%**減少している。

また、市内の総世帯数が増加している一方で、自治体・町内会の推計加入世帯数は減少傾向にある。

自治体・町内会の推計加入率の推移



自治体・町内会の推計加入世帯数の推移

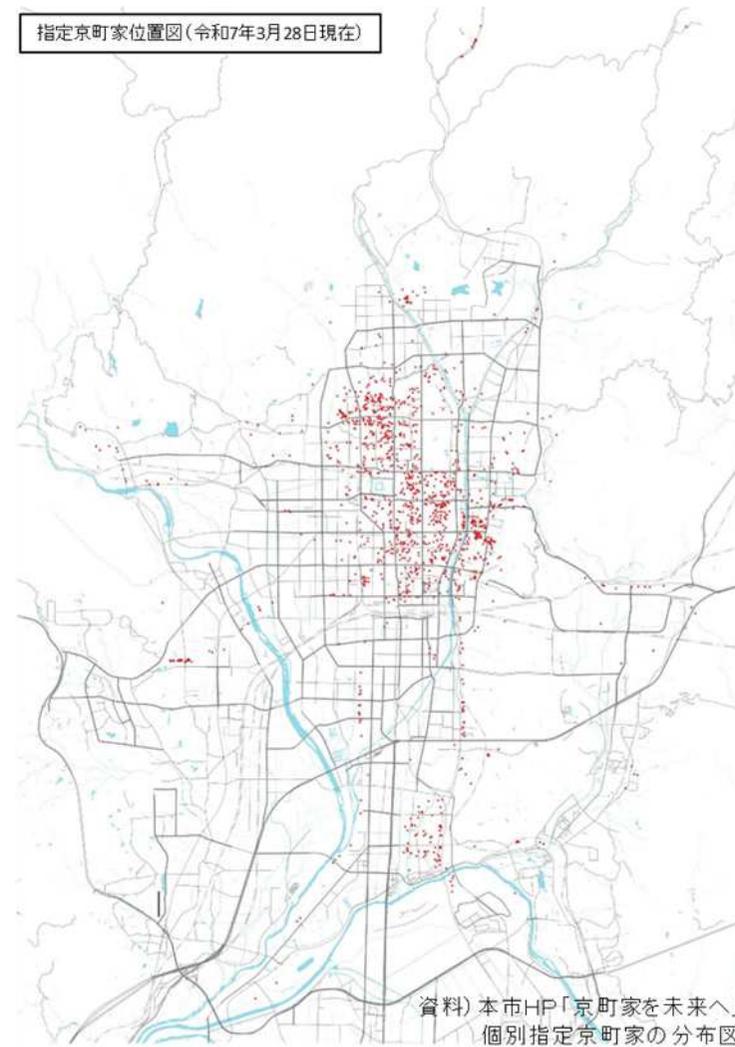
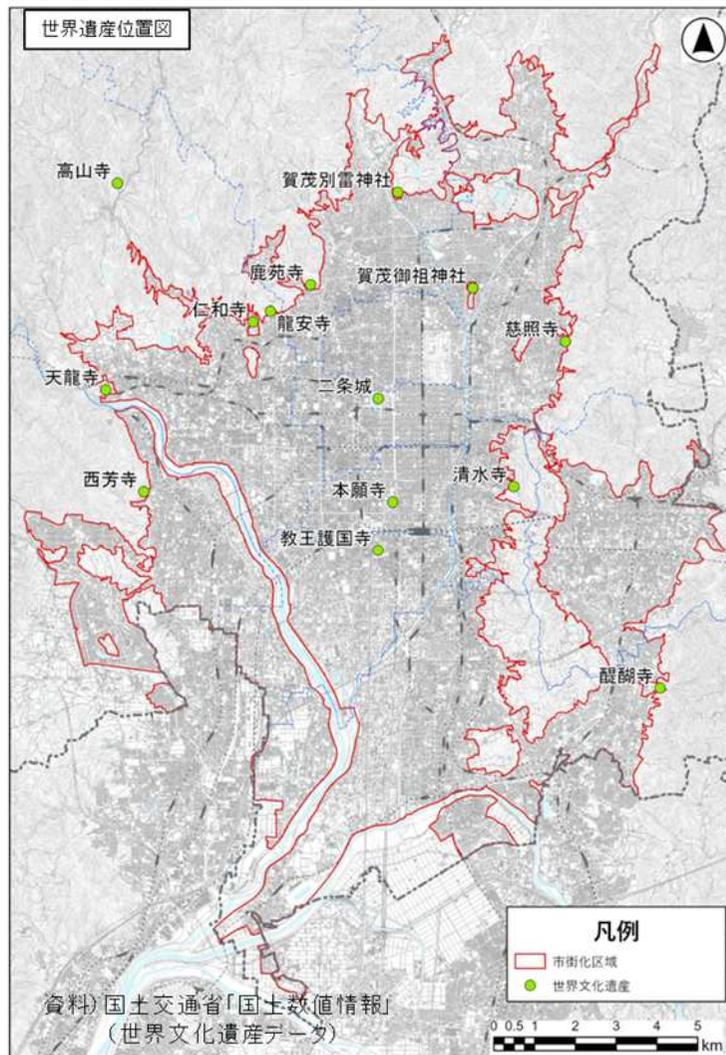


京都市「令和6年度 自治会・町内会アンケート報告書」をもとに作成

④ 文化芸術

世界文化遺産、指定京町家の分布状況

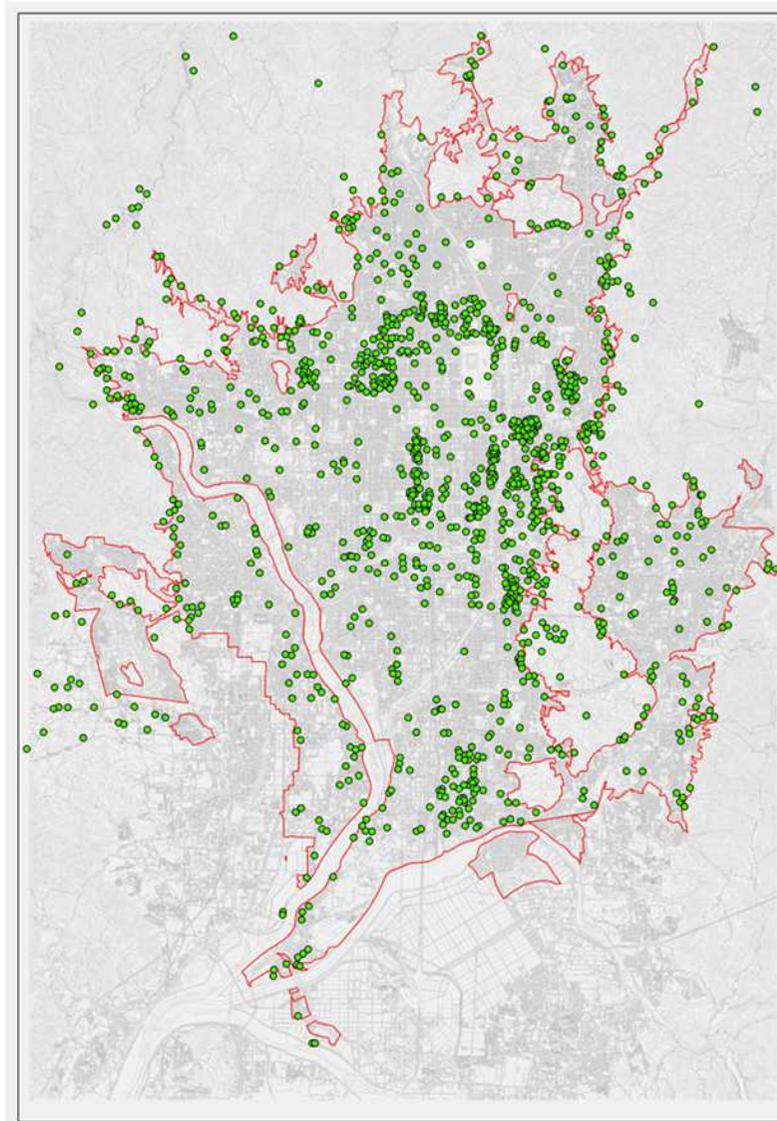
市内には、世界遺産を含む数多くの国宝や重要文化財、京町家などの歴史・文化資源が残されている。



④ 文化芸術

寺社の分布状況

寺社は、市内の中心部から、市街化調整区域も含めた周辺部にまで広く分布している。



凡例

- 市街化区域
- 寺社

資料：国土地理院（国土基本情報のうち、神社、寺院）、国土数値情報（観光資源のうち、神社・寺院・教会）のデータを基に本市作成

④ 文化芸術

京都市の維持向上すべき歴史的風致

祈りと信仰のまち京都の歴史的風致

身近な祈りの場である寺社で奉納される芸能や、世界遺産をはじめとする寺社に参詣する人々とそれを迎える門前町の人々の営みが受け継がれている。



ものづくり・商い・もてなしのまち京都の歴史的風致

伝統を受け継いだ焼物や織物などのものづくり、問屋、市場などにおける商い、花街における舞・踊りなどのもてなしの営みが受け継がれている。



伝統と進取の気風の地の歴史的風致

琵琶湖疏水における水辺の活動や近代の商業活動の継承など、明治以降の近代化の推進による伝統と進取の気風に培われた営みが受け継がれている。



千年の都を育む水・土・緑の歴史的風致

周辺の山林や河川、洛西用水や洛東用水などの農業用水、これらの水により潤される農地における祭礼、山々や農地での生業が受け継がれている。



暮らしに息づくハレとケのまち京都の歴史的風致

四季を彩る祭りや年中行事、京町家における暮らしの知恵など暮らしに息づくハレとケの営みが受け継がれている。



文化・芸術のまち京都の歴史的風致

能・狂言や茶の湯、生け花美術などの文化・芸術活動、そしてそれを支える道具商や和菓子づくりなど様々な文化・芸術・創作活動が受け継がれている。



京の街道とその周辺の歴史的風致

鞍馬や貴船、大原、山科盆地など京と密接に関わってきた旧街道沿いにおける、伝統に培われた祭りや日々の暮らし、生業が受け継がれている。



④ 文化芸術

文化芸術を取り巻く社会経済情勢

文化庁の京都移転



ユニークベニュー



京都芸大の京都駅東部への移転

令和5年10月に京都駅東部エリアへ移転。

- ➡開かれた「テラスのような大学」のコンセプトの下、多くの市民等の交流が生まれている。
- ➡京都駅周辺エリアでは、芸大移転を契機に文化芸術を基軸としたまちづくりを展開。
京都駅周辺一体を「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンへ



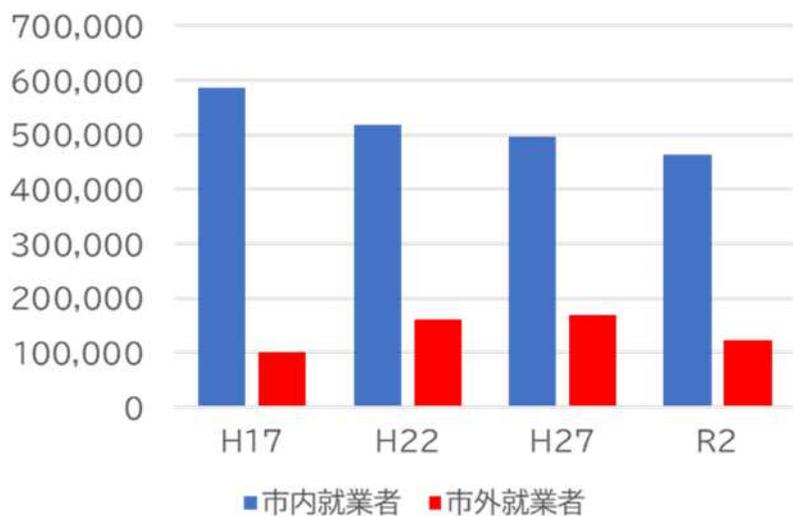
※写真は京都市撮影

⑤ 産業

市内に常住する従業者の就業地等の変化

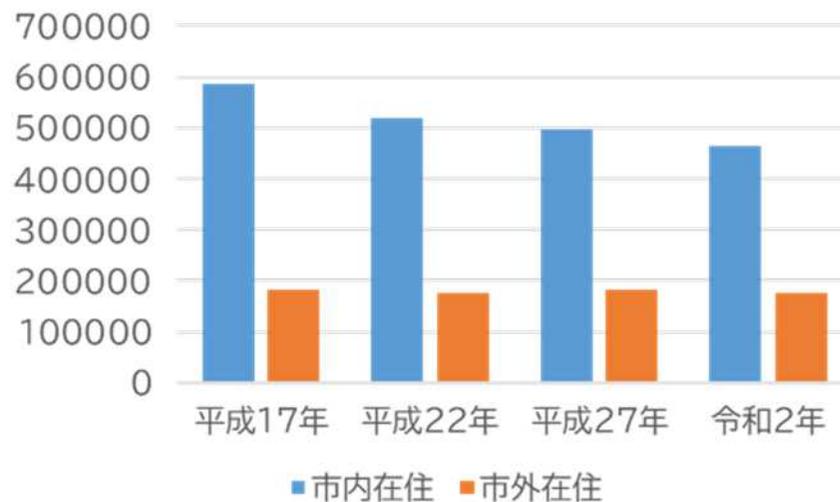
市民の働く場が市内から市外へシフトしている。

市民の就業先



※出典:国勢調査を基に作成

市内従業者の居住地

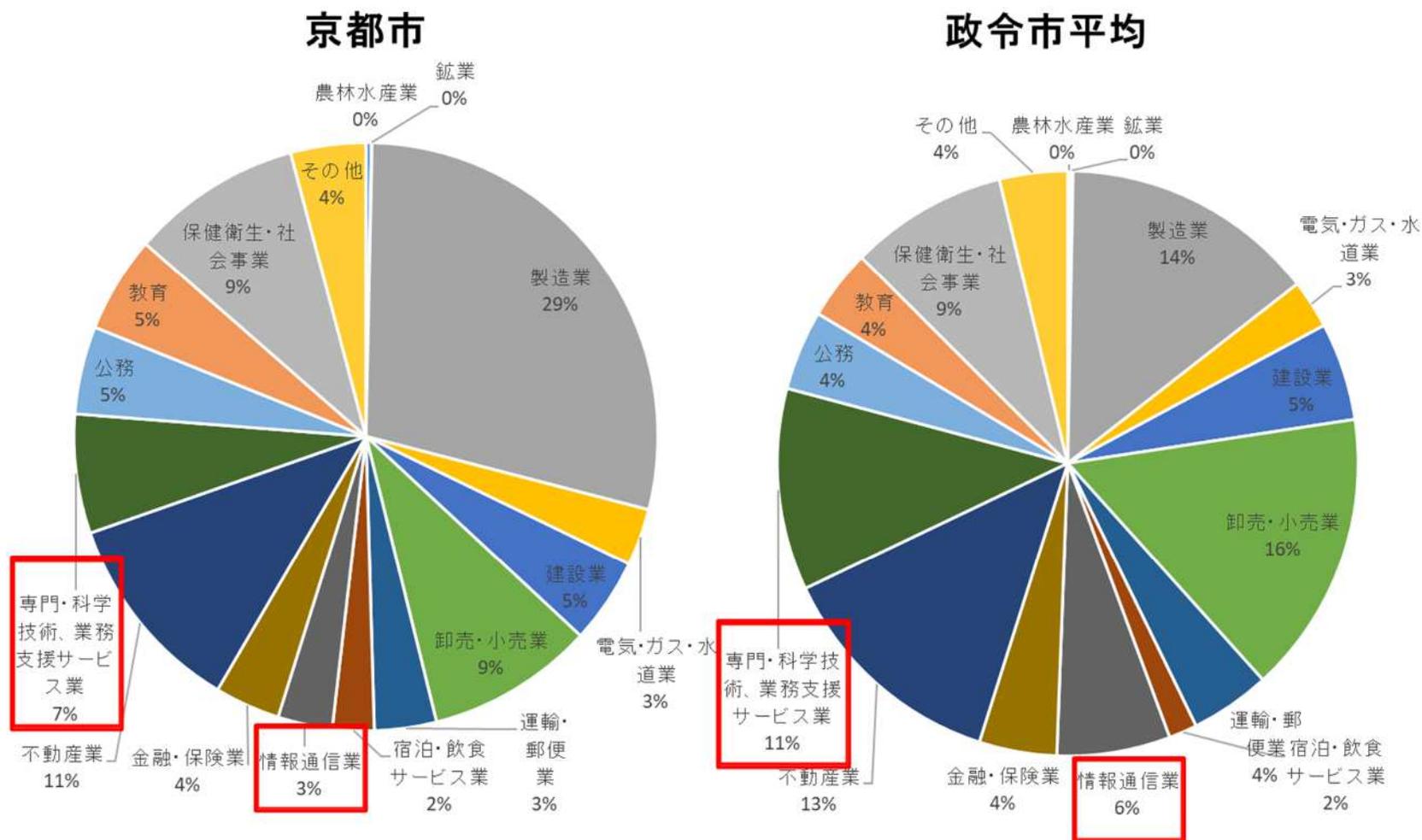


※出典:国勢調査を基に作成

⑤ 産業

市内総生産の構成比（京都市と政令市平均）

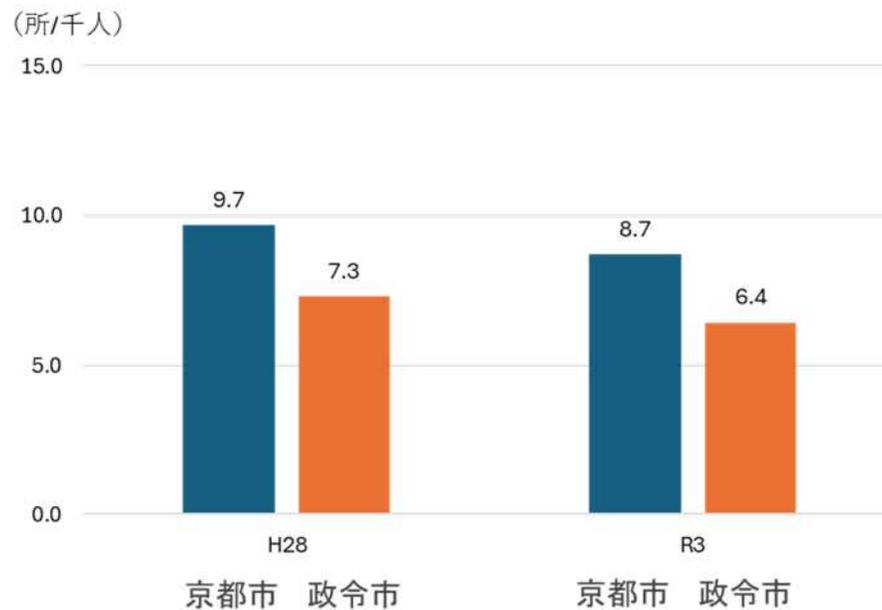
本市の市内総生産の構成比は、政令市平均と比較すると、専門・科学技術、業務支援サービス業や情報通信業のシェアが低い。



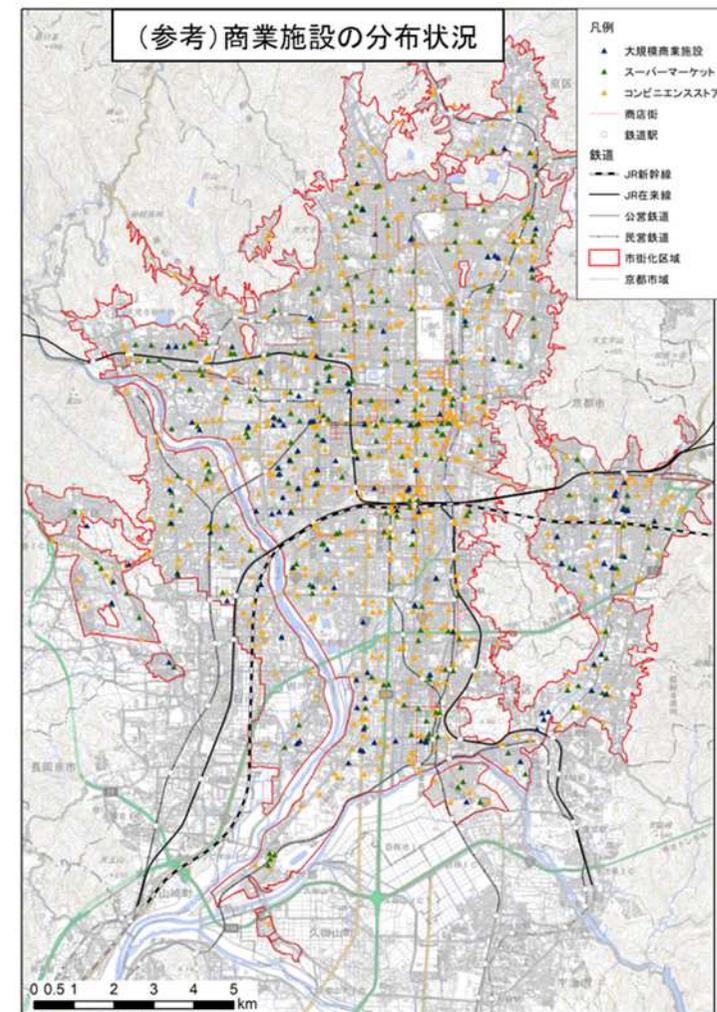
⑤ 産業

小売事業所数（市民千人当たり）

本市の市民千人当たりの小売事業所数は、政令市平均と比べ多い。



資料) 総務省「商業統計調査」、総務省「経済センサス基礎調査」、総務省「住民基本台帳」から本市作成（令和3年）



資料) NTTタウンページ(株)「iタウンページ」に掲載の大規模商業施設、スーパーマーケット、コンビニエンスストアを基に本市作成

⑤ 産業

日常生活に必要な施設（医療・福祉・商業）

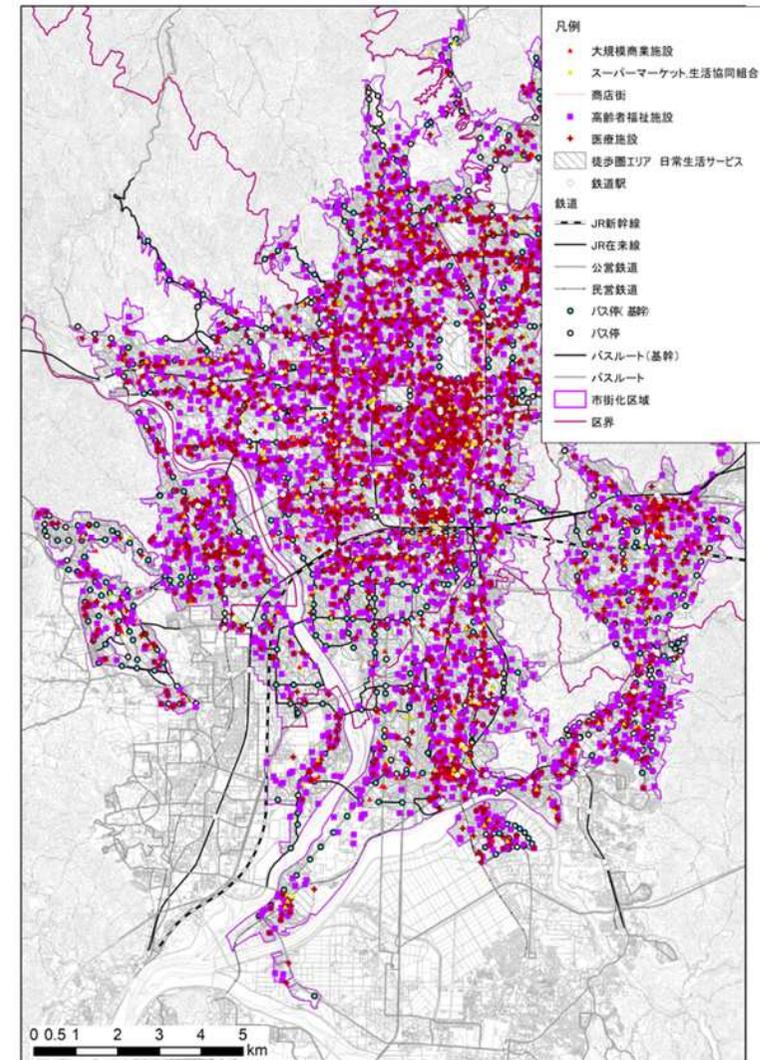
日常生活に必要な医療、福祉、商業施設と基幹的交通路線（1日30本以上の鉄道・バス路線）の全てを徒歩圏で利用できる人口の割合は、**87%**となっている。

日常生活サービスの徒歩圏充足率

87%

基幹的交通路線のみで見た場合の徒歩圏充足率

89%



資料)

大規模商業施設。スーパーマーケット、生活協同組合：NTTタウンページ(株)「iタウンページ」

商店街：「きょうは買い物日和（全行政区）」

高齢者福祉施設、医療施設：国土交通省「国土数値情報（福祉施設データ）」

医療、福祉、商業と基幹的交通路線の全てを徒歩圏(施設及び鉄道駅:半径 800m 圏, バス停:半径 300m 圏)で享受できる人口の比率

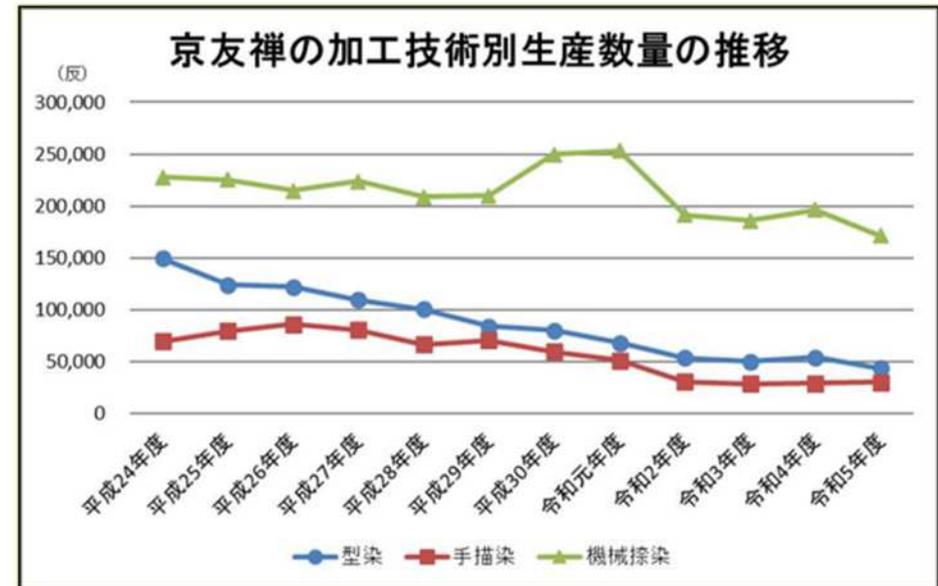
⑤ 産業

伝統産業の動向

伝統産業を代表する西陣機業の企業数、総出荷金額、従業者(S59～)、京友禅の生産数量(H24～)のいずれも、減少傾向が続いている。



出典：第23次西陣機業調査委員会「西陣機業調査の概要」
注：織機台数は出機を含み、従業者数は市内出機を含む。



出典：京友禅協同組合連合会「京友禅京小紋生産量調査報告書」再編加工

出典：京都市の経済2024年版

⑥ 観光

観光客数の推移

観光客数は年間約5千万人以上が訪問。
新型コロナウイルス感染症の影響で2020年、2021年は大幅に減少したが、2023年には観光需要が本格的に回復した。



出典: 京都観光総合調査

※ 2020～2021年はコロナ禍のため、全国共通基準に基づく算出の代替として本市独自に推計(他の年との比較はできない)



出典: 京都観光総合調査

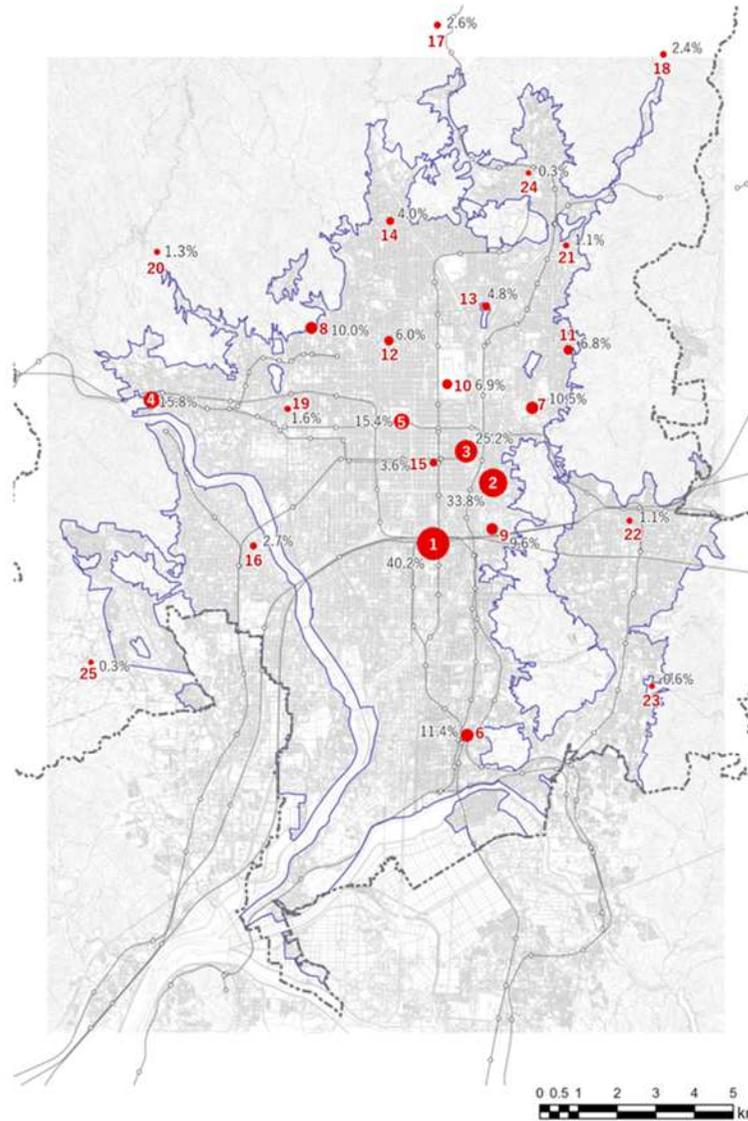
※ 2020～2021年はコロナ禍のため、全国共通基準に基づく算出の代替として本市独自に推計(他の年との比較はできない)

⑥ 観光

交流人口、観光客の訪問先（日本人）

日本人の訪問先は、京都駅周辺、東山区、中京区の繁華街が多い。

日本人	
順位	訪問地
1	京都駅周辺
2	清水・祇園周辺
3	河原町三条・四条周辺
4	嵯峨嵐山周辺
5	二条城・壬生周辺
6	伏見周辺
7	岡崎・蹴上周辺
8	きぬかけの路周辺
9	東山七条周辺
10	京都御所周辺
11	銀閣寺・哲学の道・百万遍周辺
12	西陣・北野周辺
13	下鴨・北山周辺
14	上賀茂・鷹峯・紫野周辺
15	烏丸御池・四条烏丸周辺
16	松尾・桂周辺
17	鞍馬・貴船周辺
18	大原・八瀬周辺
19	太秦・花園周辺
20	高雄周辺
21	一乗寺・修学院周辺
22	山科周辺
23	醍醐周辺
24	岩倉周辺
25	大枝・大原野周辺



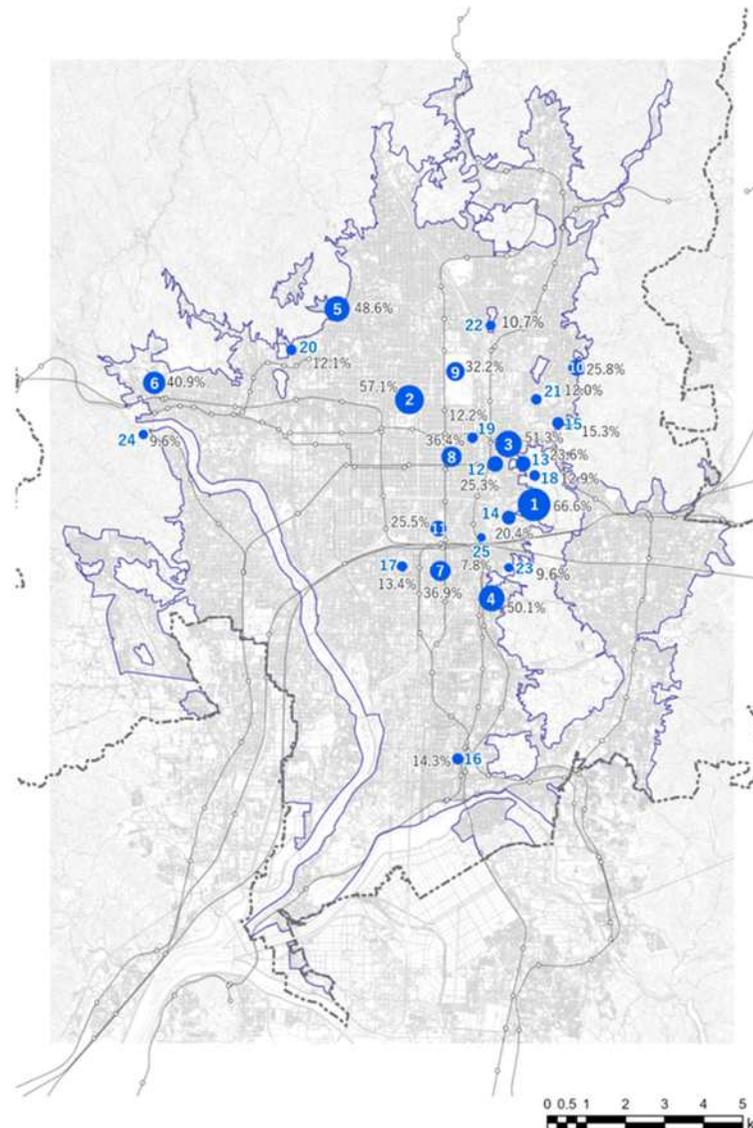
資料:「令和5年京都観光総合調査」
(京都市産業観光局)より作成

⑥ 観光

交流人口、観光客の訪問先（外国人）

外国人の訪問先は、東山区、中京区の観光地や繁華街に加え、金閣寺、嵐山、伏見稲荷大社が多い。

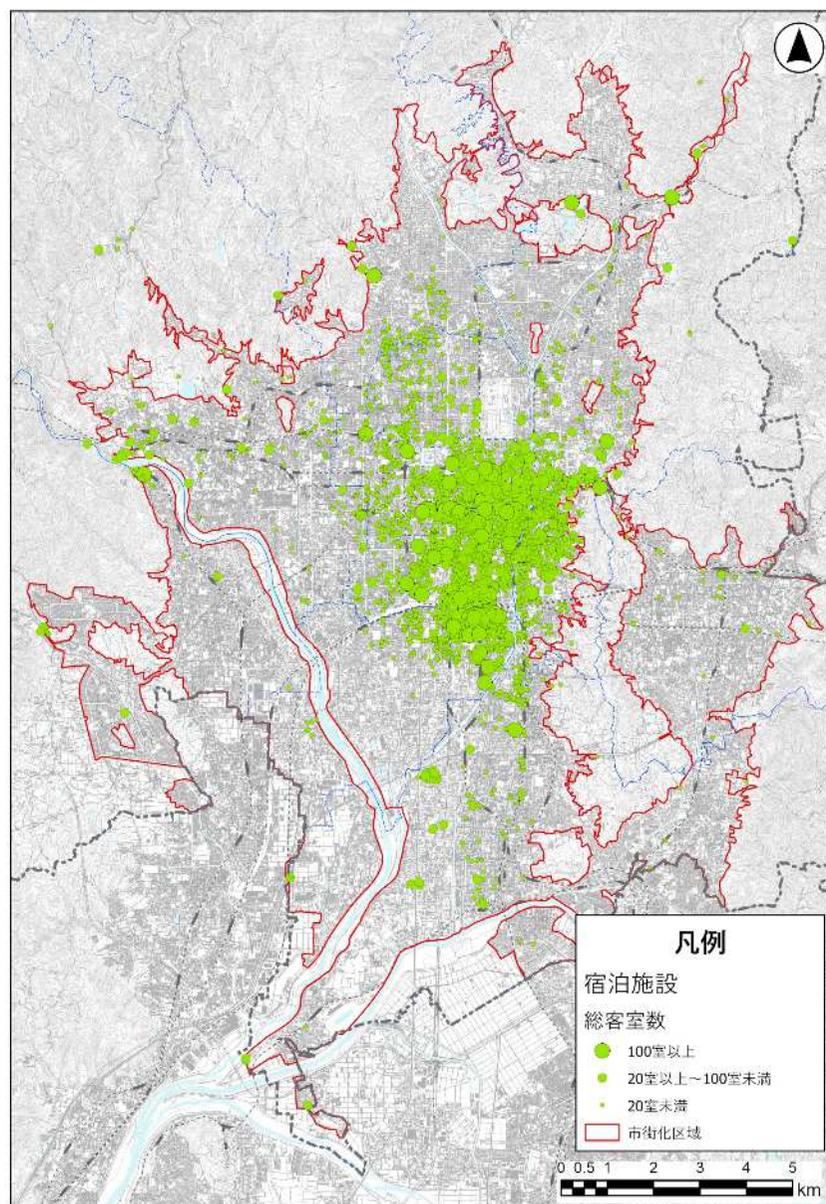
外国人	
順位	訪問地
1	清水寺
2	二条城
3	祇園周辺
4	伏見稲荷大社
5	金閣寺
6	嵐山・嵯峨野周辺
7	京都駅周辺
8	錦市場周辺
9	京都御所
10	銀閣寺
11	京都タワー
12	ギオンコーナー
13	八坂神社
14	東山周辺
15	南禅寺
16	伏見周辺（伏見稲荷大社以外）
17	東寺
18	高台寺
19	河原町・四条周辺
20	龍安寺
21	平安神宮
22	下鴨神社
23	東福寺
24	嵐山モンキーパーク
25	三十三間堂



資料:「令和5年京都観光総合調査」
(京都市産業観光局)より作成

⑥ 観光

宿泊施設の立地状況



資料) 京都市「旅館業許可
台帳」を基に本市作成

⑦ 環境

生物多様性の課題

「京都らしさ」を支える生物資源の減少

祇園祭で授与される粽や京料理に使用されるチマキザサがシカ食害等により本市域で絶滅の危機に瀕しているほか、葵祭の行列の装束や牛車に飾られるフタバアオイが、生育数の減少により自生している数だけでは賄うことができなくなる等、様々な生物資源が減少している。

里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下

建築材等への森林資源の利用減少や林業の担い手不足に伴い、森林の荒廃が進んでおり、生物の生息・生育環境としての質の低下や、貯水機能の低下による土砂崩れの発生などが懸念されている。

また、農地等の宅地化等に伴う里地里山の生きものの減少、さらには、狩猟者の減少・高齢化等に伴うシカの食害の増加による植生の急激な衰退などが問題となっている。

多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の危機

京都は、京都御苑や宝が池公園、社寺の緑などまとまった緑地や、多くの河川があることで市街地にも生きもののすみかとなる重要な自然が残されている。しかし、緑地や水辺の消失・縮小・分断、シカの食害、外来生物の増加、気候変動等により、生態系のバランスを崩しかねない状況にある。

⑦ 環境

京都市における地球温暖化対策の進捗状況

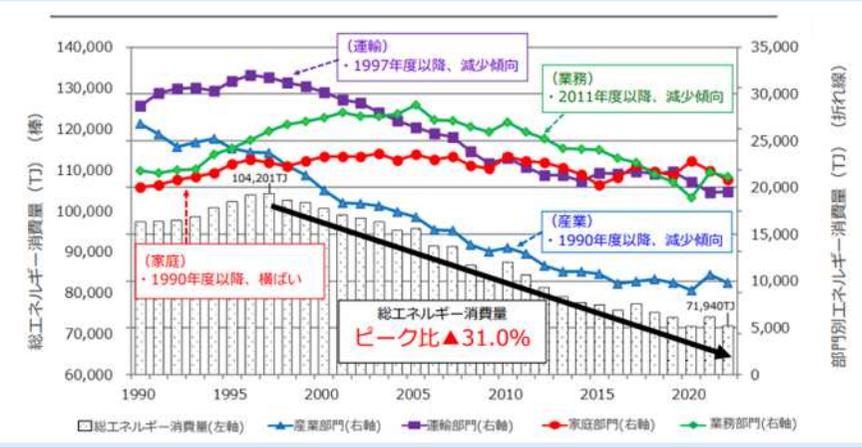
温室効果ガス排出量の推移

温室効果ガスは2012年度をピークに、以降着実に排出量が減少しているものの、近年削減ペースは鈍化傾向。



エネルギー消費量の推移

市域の総エネルギー消費量は、1990年度のピーク時と比べると**31.0%**まで削減されている。



資料) 「地球温暖化対策に係る年次報告書 (令和6年度)」より